



5/15・16 (水・木) 防災ネットワークしもすわ 講演や漫才で伝える防災意識

下諏訪町の防災士で構成される「防災ネットワークしもすわ」は、東京都の高校から依頼を受け、2日間にかけて防災の知識や日頃から備えることの大切さを伝えました。講演や漫才の他に、高校生からの質問にも答えました。

「人と人とのつながりが強い方が、災害時には助け合えることがわかった。」「東京に帰ってから避難場所について家族と話し合いたい。」等の声が聞かれ、生徒たちにとっては、改めて防災について考えるきっかけとなりました。

5/22 (水) 北小学校5年生田植え 秋の収穫楽しみに

北小学校5年生の児童、約60人が田植えに挑戦しました。北小学校では、「できるだけ自分たちで考え、作業を進めたい。」という児童の思いから、今年は「田起こし→代かき→田植え」と、一つひとつの作業について、自分たちで事前に調べ、試行錯誤しながら作業を進めてきました。

今後についても、できるだけ独力で作業を進めることを希望し、「おいしいひとめぼれのお米ができれば良いな。」と秋の収穫を楽しみにする児童の姿が見られました。



5/26 (日) 春の河川一斉パトロール G20関係閣僚会合を契機に

6月に軽井沢町で開催の、G20の国際会議を契機に、県内10カ所で「クリーン信州forザ・ブルー」と称した河川清掃活動が行われました。

諏訪地域では、十四瀬川河口周辺にて活動が行われ、プラスチック、空き缶、紙類の他、不法投棄されたタイヤ等が多数回収されました。

また、同日行われた「町の環境の日一斉清掃」では、住民、団体、企業から計300人が参加し、諏訪湖岸と県道八島高原線で880kgのごみを回収しました。

5/下旬 町内各保育園で草餅会

町内のさくら・とがわ・みずべ保育園で草餅会が行われました。園児は自分たちで収穫したヨモギを使って、先生と一緒に餅つきを行った後、ゴマときな粉をまぶした草餅を給食の時間に味わいました。

「初めてお餅つきをして楽しかった。」「おいしくてたくさんおかわりしちゃった。」と、季節の味を堪能し、笑顔溢れる時間を過ごしました。

